

平成 17 年度 第 1 回 主要課題改革推進委員会
委員会終了後記者会見録

日時：平成 17 年 10 月 31 日（月）14:24～14:27

場所：永田町合同庁舎第 4 会議室

司会 それでは、第 1 回主要課題改革推進委員会の記者会見を始めさせていただきます。
非常に時間が短くて恐縮なのですが、会見としましては 2 時半までとさせていただきます
ので、よろしくお願いいたします。

それでは、早速、御質問をお受けします。御質問のある方は御自身の所属からよろ
しくお願いいたします。

御質問ございませんでしょうか。

記者 最後に、宮内さんが、長期にわたる停滞は看過できないとおっしゃいましたけれ
ども、今日議論されて、一番ここが問題だというようなポイントはございましたでしょ
うか。

宮内議長 もう問題点は皆さんおわかりなのだと思うのですが、やはり制度設計を変え
るという大仕事に本当に取り組んでいただく決心がまだできていないのではないか。した
が、いまして、過去、やってこられたことの若干の手直ししかできていないということ
から、老人の介護の問題に比べて少子化の問題は小さいのだという認識がもしあるとす
れば、これは私は大間違いではないか。日本の社会にとってはもっと大きな問題なのであ
って、勇気を持って制度を変えるという英断をしていただければ、これは動くという感じ
がいたしました。

いずれにしても、平成 11 年から今日まで、これはほとんど放置されていたと言っ
ていいのです。こういうのはやはり閣議決定に対して、これでいいのだろうかという疑問
を改めて感じました。

司会 ほか、ございませんでしょうか。

記者 この問題は、ロジの話なのですけれども、今後どういう取扱いをして、最終的な
方向になるか、もう一度教えていただけますか。

白石主査 ロジの話と言いますと、スケジュールの話ですか。

記者 スケジュールです。

白石主査 今回、担当の所管省庁と公開討論をしましたので、会議の中でも申し上げた
とおり、納得いく回答が得られませんでしたら、総理の裁定事項として宮内議長を含む、
この主要メンバーで大臣折衝という形になっていくと思います。

八代副主査 その前に、ワーキンググループでもう一回細かい点は当然詰めます。

司会 ほか、よろしいでしょうか。御質問ございませんか。

それでは、記者会見をこれにて終了いたします。ありがとうございました。